

ICT を用いた檻・罾の遠隔監視・操作装置（クラウドまるみえホカクン）の開発

複数の檻・罾を一元管理可能な、ICT を用いた檻・罾の遠隔監視・操作装置（クラウドまるみえホカクン）を開発しました。クラウド上で複数人が多数の大型檻・罾の画像等を共有可能であり、地域の捕獲体制の強化が期待できます



図1 クラウドまるみえホカクンの外観とシステムの概要

- ◎複数の檻・罾の画像等の管理が可能なクラウドスペース（ホカクラウド）を設置し、それに連動する「ICT を用いた檻・罾の遠隔監視・操作システム（クラウドまるみえホカクン）」を開発しました。
- ◎複数の檻・罾を一元管理できるだけでなく、録画映像なども携帯端末等から閲覧可能です。



図2 ライブ映像閲覧画面（PC）



図3 録画データ閲覧と記録画面（PC）

- ◎複数の管理者の情報交換のためのチャット機能や録画データの閲覧機能なども備えています（図2, 3）
- ◎複数の大型檻・罾を複数管理者が情報共有しつつ管理が可能なシステムとなることで、地域全体の捕獲進展や、管理者の技能や意欲向上にも繋がります。

注意点：被害対策と併せた個体数管理を進めることが被害軽減効果を高めます。そのためには、市町、県、住民組織など地域の関係者が共有可能な計画策定の上での機器導入が重要です。

お問い合わせ先	地域連携研究課 山端 直人 電話 0598-42-6356 中央農業改良普及センター 宇野 敦善 電話 0598-42-6323
参考になる資料	三重農研HP: http://www.pref.mie.lg.jp/nougi/hp/74882027005.htm